

人文社会科学研究科【学位授与の方針】

【人文社会科学研究科（全体）】

人文社会科学研究科は、以下に示す全専攻共通の学修成果及び専攻別に示す学修成果をあげた者に対して、学位を授与する。

＜学修成果＞

1. 研究に従事する者として、法令を遵守し、高い倫理観をもって自らを律し行動することができる。
2. 高度な研究手法を身に付け、主体的に研究活動を行うことができる。
3. 自らの研究成果を文章及び口頭により、説得力ある言葉で他者に的確に説明することができる。
4. グローバルな視点や学際的な視点から現代社会に生起する諸課題を理解し分析することができる。

【日本語日本文学専攻】

日本語日本文学専攻修士課程は、人文社会科学研究科全専攻共通の学修成果及び以下に示す学修成果をあげた者に対して、「修士（文学）」の学位を授与する。

＜学修成果＞

1. 日本文学や日本語に関する体系的な知識を有している。
2. 古今の文学作品の読解力や日本語運用能力を活かして、コミュニケーションやプレゼンテーションを適切かつ積極的に行うことができる。
3. 日本文学や日本語に関する専門知識を他者に正しく伝えることができる。
4. 現代社会が直面する日本文学や日本語に関わる諸問題を学問的かつ実証的に分析し、その解決策を立案・提示することができる。

【言語文化専攻】

言語文化専攻修士課程は、人文社会科学研究科全専攻共通の学修成果及び以下に示す学修成果をあげた者に対して、「修士（言語文化）」の学位を授与する。

＜学修成果＞

1. 学際的見地及び科学的・学問的な立場から、言語文化の諸領域を横断的に俯瞰できる。
2. 世界の多様な言語文化の特色と普遍性を深く理解し、体系的な知識と幅広い教養に基づき、独創的な研究を行うことができる。
3. 英語及びその他の外国語の高度な運用能力（複言語能力）を備え、それを専門分野の研究に役立てることができる。

【歴史文化専攻】

歴史文化専攻修士課程は、人文社会科学研究科全専攻共通の学修成果及び以下に示す学修成果をあげた者に対して、「修士（歴史文化）」の学位を授与する。

＜学修成果＞

1. 世界史的な視野を持ちながら、日本の歴史と伝統・文化に関する体系的な知識を有している。
2. 現代の高度情報社会・ボーダレス社会が直面する諸問題を、歴史的観点・見地から実証的に分析し、その解決策を立案・提示することができる。
3. 歴史の専門知識と古文書や史資料の読解力を活かして歴史研究を行い、その成果を社会に正しく発信することができる。
4. 史資料や史跡を大切に保存・活用し、過去の歴史を未来に伝達・継承する自覚と技術を有している。

【法・政治学専攻】

法・政治学専攻修士課程は、人文社会科学研究科全専攻共通の学修成果及び以下に示す学修成果をあげた者に対して、「修士（法学）」又は「修士（政治学）」の学位を授与する。

＜学位共通の学修成果＞

1. 法学及び政治学と実社会との関わりについて、自らの見解を確立し、それを他者に論理的に説明することができる。
2. 法学及び政治学に関わる国際的諸問題に関心を持ち、自らの研究を問題解決に活かす姿勢や意欲を有している。

＜修士（法学）の学修成果＞

1. 法学に関する高度かつ体系的な専門知識を有している。
2. 法的かつ論理的な思考能力及び分析能力を有している。
3. 現代社会における法的な課題を発見することができる。
4. 法的思考能力及び分析能力に基づき、法的な課題に対して理論的かつ実践的な解決策を提案することができる。

＜修士（政治学）の学修成果＞

1. 政治学に関する高度かつ体系的な専門的知識を有している。
2. 政治学的かつ論理的な思考能力及び分析能力を有している。
3. 現代社会における政治的な課題を発見することができる。
4. 政治的思考能力及び分析能力に基づき、政治的な課題に対して理論的かつ実践的な解決策を提案することができる。

【経済・経営学専攻】

経済・経営学専攻修士課程は、人文社会科学研究科全専攻共通の学修成果及び以下に示す学修成果をあげた者に対して、「修士（経済学）」又は「修士（経営学）」の学位を授与する。

<学位共通の学修成果>

1. 経済学を専門とする者は経営学、経営学を専門とする者は経済学の基本的な知識を身に付けている。
2. 経済学及び経営学に関わる国際的諸問題に関心を持ち、自らの研究を問題解決に活かす姿勢や意欲を有している。

<修士（経済学）の学修成果>

1. 経済学に関する高度かつ体系的な専門知識を有している。
2. 経済学的かつ論理的な思考能力及び分析能力を有している。
3. 現代の経済社会が直面する諸問題に学術的側面から多面的に取り組み、社会的な要請に応えるために自ら考え、説明することができる。
4. 社会に関する事象について経済学の視点から分析を行い、その内容をまとめ、信頼性及び説得性をもって説明することができる。

<修士（経営学）の学修成果>

1. 経営学に関する高度かつ体系的な専門知識を有している。
2. 現代経済・経営を歴史的な視点及び幅広い視野で分析・調査することができる。
3. 理論に基づいた経営学的思考能力を有している。
4. 経営事象に関する研究を通じて、現代企業及び様々な組織の有する問題を発見し、理論的かつ実践的な解決策を提案することができる。